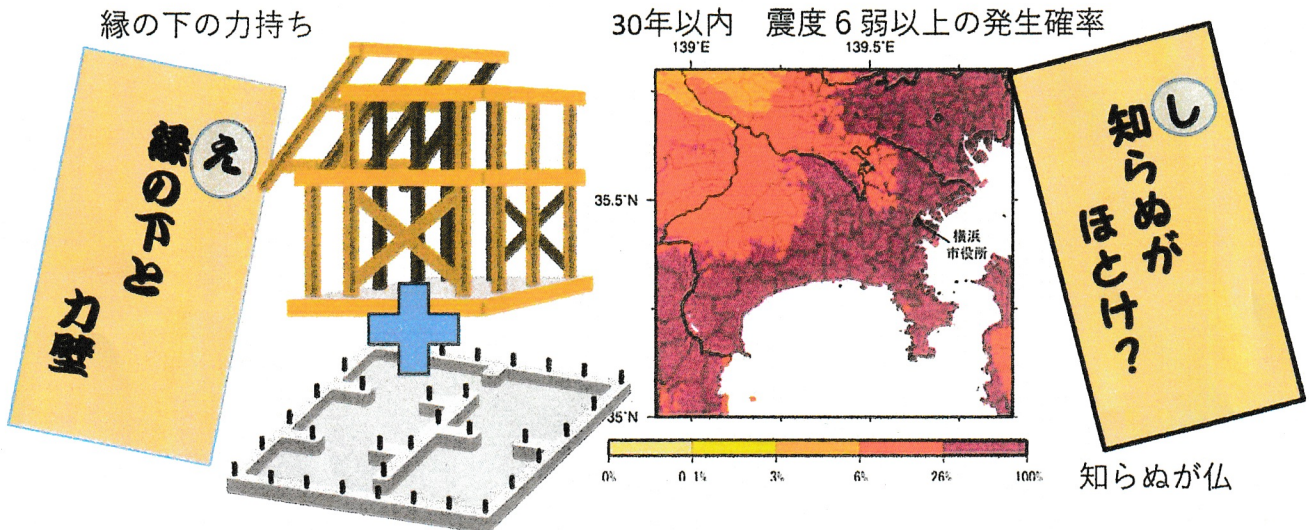


防災かるた さつき自治会

編集：防災を考える会

一月（むつき）

今年は能登で大きな震災があり、心穏やかならぬ年明けとなりました。被災地の方々へのお見舞いととともに、当地の防災への取り組みに、決意を新たに参りましょう。今回の能登半島地震は、神戸淡路や熊本地震と同様に活断層が動く直下型地震でした。神奈川県では、松田-小田原と三浦半島の断層に特に注意が必要と言われています。



木造建築の耐震基準は、1981年に耐力壁が大幅に改訂されました。阪神・淡路大震災(1995年)の際も、新基準の住宅の大破は少なかったと報告されています。さらに2000年に基礎工事、耐力壁、止め金具指定など大幅に耐震基準が強化されました。

政府の地震本部の推計では、神奈川県で影響が大きい首都直下地震と南海トラフ地震は、30年以内に70%以上の発生確率が予想されています。

防災部長の一言：

家屋の耐震診断
お力のめです 簡易ト化是非備蓄せ!